

## 第2号様式（第3関係）

### 平成21年度第3回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成22年3月24日（水）午前10時から
- 2 開催場所 豊山町役場 2階 会議室1
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員  
（役職及び氏名） 会長：領木國雄、  
委員：岡田洋司、山本達三、西川 徹、宮沢洋子、石黒俊彦  
岡島剛、太田明雄、岡島千衣子、安藤証一、山村ノリ、  
（欠席）高柳勝子  
事務局：松田康朗教育長、早川晴男教育部長、柴田昌治課長、  
佐藤正司係長、辛嶋洋充生涯学習指導員
- 4 議題 (1) 豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について  
(2) 平成22年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について  
(3) 平成21年度生涯学習学級講座受講状況について
- 5 会議資料 ・豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画（資料No.1）  
・平成22年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画（資料No.2）  
・平成21年度生涯学習学級講座受講状況（資料No.3）
- 6 議事内容  
（司会） 本日は、お忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。定刻を少し過ぎましたが、ただ今より第3回生涯学習推進審議会を開催します。  
  
なお、本日、高柳委員より欠席の連絡をいただいておりますので報告させていただきます。  
  
—配布資料の確認—  
それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。  
（会長） 本日は、お忙しい中、足元が悪い中、ご出席いただきましてありがとうございます。日頃は、生涯学習の諸事業にご尽力をいただき感謝申し上げます。  
  
さて、世界に目を向けますと経済情勢は依然として長いトンネルの中にあり、なかなか脱出することができません。私の建設業界も例外では

なく、受注件数が激減しており、回復の兆しもない状況です。しかし、東京では、億を超える高級マンションがよく売れ出したという明るい話題も聞こえてくるようになりましたので、期待をしたいと思います。

これからの時代は、生涯学習がますます注目される時代になります。そんな時代だからこそ、町民の皆さんが芸能、文化、趣味などの様々な学習活動を通して、人生を豊かなものにしてもらいたいと思います。本日ご出席いただいた委員の皆様にはそれぞれの分野で努力を重ねていただいておりますが、今後の生涯学習の発展のために本日のご審議をよろしくをお願いします。

(司会) 次に、教育長よりあいさつを申し上げます。

(教育長) 本日はご多用のところご出席いただきありがとうございます。

また、日頃は生涯学習、町教育行政に対しまして格別のご尽力を賜りまして感謝申し上げます。

今年度は、豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画策定に取り組んできました。第1回ではアンケートについて、第2回ではアンケート集計からまとめた中間案についてご審議いただき、本日の第3回を迎えることとなりました。町民の皆様のアンケートやご意見をもとに、部内での検討、役場内での調整会議、推進本部を経て今日まで来ましたが、その間、委員の皆様には貴重なご意見をいただきました。本日、最終の提案を事務局からいたしますが、今一度、ご点検ご確認いただけたらと思います。

また1年間、生涯学習全般に対していろいろな角度からご意見をいただいたことに感謝申し上げ、最初の挨拶といたします。

(司会) それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長をお願いします。

(会長) 議案(1)「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について」事務局より説明をお願いします。

～豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について～

資料NO.1により説明。

(会長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問ご意見はありますか。

(委員) P50に「サークルを登録する」という取り組みがありますが、もう少し詳しく説明をお願いします。

(事務局) 今度の基本計画には、サークル活動の活性化を大きな目標として掲げています。従来は文化協会や体育協会が前面に活躍していますが、今回小さなサークルにも注目しています。町内には多くのサークルがあると思いますが、現在どれだけあってどんな活動をしているのか把握できていませんので町民の方にお知らせもしていません。そこで、窓口を一本化して、部員を募るとか活動を知らせるという思いで登録しただけ

るサークルを受け付け、一覧表などにまとめて必要な方に情報を発信する方向で取り組みたいと思っています。

(委員) 以前はサークルの募集などが広報に載せてあったと思いますが、最近見られません。できなくなったのですか。

(事務局) 町の広報誌は公のもので、私的なサークルの募集を掲載することは線引きが難しいので、今は行っていません。

(委員) 2年ほど前までは、掲載してよかったと思うのですが。

(事務局) いつからかは確認できませんが、私も広報を担当していましたので、かなり前から文化協会、体育協会所属のサークルだけに限定しています。

(委員) 今回のサークルの登録のことは、そのようなことと話がちがうのですか。

(事務局) 広報誌にということではなく、登録されたサークルをホームページで情報発信していく予定です。

(会長) P 5 1に「指導者の育成として指導者養成講座」の取り組みがありますが、指導者養成に関してのマニュアルなどはあるのでしょうか。もしあれば、そのようなものをサークルに配布したらどうでしょうか。指導者には専門的なことばかりではなく、倫理観、しつけ、マナーなど人間形成のための方法や考え方が必要かと思います。

(事務局) 指導する方を養成するために、講師を招いて養成講座を開きたいと考えています。そのため、マニュアルやカリキュラム、しつけに関するものを順次用意していきたいと思っています。後ほど実施計画で述べさせていただきますが、平成22年度にはすべて開設することは難しいかもしれませんので時間をいただきたいと思います。

(会長) 他に、質問やご意見はありませんか。

何もなければ第1号議案「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

(会長) 第1号議案「豊山町生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画について」は全員の拍手で承認されました。

続きまして、第2号議案「平成22年度豊山町生涯学習のまちづくり基本計画・実施計画について」事務局から説明をお願いします。

～平成22年度豊山町生涯学習のまちづくり基本計画・実施計画について～ 資料NO. 2により説明。

(会長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問ご意見はありますか。

(委員) P 5, 7, 11にある「生涯学習の集い」「サークル活動の発表の場」について、どういう形で発表させるのか具体的にもう少し説明をお願いします。

(事務局) 大規模な発表は考えていません。サークルの調査の中で、発表してもらおうサークルを考えたいと思います。例えば手芸や踊りなど趣味的なも

のを想定していますが、文化展や芸能発表会などに似たものになるのかまだはっきりしません。22年度はそれに対して予算を組んでいませんので、社会教育センター内の施設で手作りの発表の場をイメージしています。取り組んでみて、いろいろな点を検討し、次年度の予算も含めて順次拡大することなどを考えていきたいと思ひます。

(委員) 全体として盛りだくさんの取り組みがありますが、3点お聞きします。第1点として、P3に建設課や福祉課の事業がありますが、どのように関わって進めていくのでしょうか。第2点として、P5の郷土文化財の活用ですが、生涯学習に馴染めないと思ひますがどうでしょうか。3点目は図書室事業に肝腎の図書の充実がないのですが、いいのでしょうか。

(事務局) 第1点の他の部局の事業を生涯学習の領域としている件ですが、年に一度は見直しのために各担当課と調整しています。その中で、それぞれの事業が生涯学習の領域なのかも意見を集約し検討しています。本委員から度々指摘されているイベントなどが生涯学習なのかという議論は十分行われているとは言えませんが、このまま継続する予定です。担当課の方から外してほしいという要請がない限り、従来通りの考え方で進めたいと思ひます。

(委員) P3の福祉課の事業「母子家庭自立支援相談、女性相談」などは生涯学習としておさまりが悪いと思ひます。

(事務局) 相談事業は広い意味で生涯学習という考え方でとらえています。2点目の郷土文化財の活用の件ですが、現在の豊山町では生涯学習課しか担当できません。22年度は文化財コーディネーターに週2回来ていただいて、民具台帳の整理や展示室の整理を行う予定です。3点目の図書の充実は、当然進めていきます。現在蔵書数は飽和状態ですので、新刊との入れ替えをしていきます。

(委員) 飽和状態は喜ばしいことですので、ランクを上げて図書館への展望があればと思ひます。図書室と図書館とはイメージが違います。

(課長) 現在の蔵書数は9万冊で、10年過ぎれば入れ替えをしています。町の方針として新たな建物をつくる考えはありませんので、図書館よりも現在の図書室を充実していきたいと考えています。

(委員) 図書室の利用は本町だけでなく北名古屋も利用できますが、あまり広報されていません。他の市町の図書館を利用することを広めることは町としてまずいのでしょうか。

(課長) 他の市町の図書館の利用を進めていけないことはありません。PR不足だったかと思ひます。現在、隣接する市町の図書館は利用できることになっていますのでPRに努めます。また県の図書館は県民であれば利用できます。

(委員) 講座受講者の状況をみますと、町民の60歳代以上は生涯学習に興味はあるのだけれど、自分一人で取り組むには勇気が必要であり誰かに後押しをして欲しいという人が多いと思ひます。そこで身近なこととして

一番目にできるのは広報です。広報に生涯学習のことばかり載せるわけにはいきませんが、来月にはこんな講座があるなどを知らせてもらえないだろうかと思います。サークル活動などをホームページやとよやまチャンネルで紹介することは大変良いことです。後ろから背中を押してくれるような広報活動をお願いします。

(事務局) 講座状況に話が進みましたので、平成21年度の講座受講状況を説明します。

～平成21年度生涯学習講座受講状況について～

資料NO. 3及び平成22年度生きがいタウンにより説明。

(委員) 前からも言っていますが、生きがいタウンは全戸配布にして欲しいと思います。

(事務局) 5年ほど前から今の方法にし、以前の6,000部から3,500部に減らし経費削減に努めてきました。減らしたことについての賛否は半々です。経費の面だけでなく資源の問題もあり、委員さんのご意見もわかりますが今の配布方法を続けます。ただ、この情報誌がどこに置いてあるのか、どうすれば手に入るのかについては周知徹底していきたいと思います。

(委員) この生きがいタウンはカラーで詳しいもので経費もかかるはずですが、ですから、講座の一覧だけをかけた簡単なものを印刷して全戸配布して、くわしくは生きがいタウンでという2段階での情報発信はいかがでしょうか。

(事務局) 基本的な考え方として、広報に用紙を差し込まないことにしています。広報に講座一覧表を掲載することは不可能ではありませんが、そのスペース分をあけてもらわなければなりませんので、事前の調整が必要です。

(委員) 先日の社会教育センターでのお雛様の展示はとても良かったです。ただ、エレベーターで上がると、後ろ側がみえてしまうのでそこだけ今後検討していただきたいと思います。私は5つほどの講座に関わっていますが、豊山町の人には学習意欲があります。そこで、今回、生涯学習の集いが実施計画に入ったことは意義があり、サークルの把握は難しいかもしれませんが、サークルの皆さんの発表を考えているということをPRしていただきたいと思います。

アンケートを見ると、いろいろなものに参加したい、参加したくない割合は50%、50%です。その意味から、背中を押していただくことは大切だと思います。そして参加する人に喜びを語っていただくと、参加も増えると思います。最初は大変かと思いますが、よろしく願います。

(会長) 他に、質問やご意見はありませんか。

何もなければ、第2号議案「平成22年度豊山町生涯学習のまちづくり基本計画・実施計画について」及び第3号議案「平成21年度生涯学習

学級講座受講状況について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

(会長) 第2号議案、第3号議案は全員の拍手で承認されました。  
それでは「その他」で何かありますか。

(声なし)

事務局から何かありますか。

(事務局) 生涯学習審議会の委員の任期は3月31日までです。引き続きお願いする方もあろうかと思いますが、よろしくお願ひします。また公募を行う予定です。

(会長) それでは、これもちまして第3回生涯学習推進審議会を終わります。  
本日はありがとうございました。

(司会) それでは、教育長、最後の挨拶をお願いします。

(教育長) 会長様、ありがとうございました。基本構想・基本計画は、10年前のものと町民のアンケートを参考に進めてまいりました。よかったと思うことは、私ども職員が生涯学習の在り方と今後のことについて熱心に見直そうとしたことです。本日、委員様から前向きなご意見をいただきました。私も団塊世代ですが、これからのグローバル化の中で生涯学習の必要性は一層認識されていくと思います。そういう意味でフレッシュな気持ちになった私どもが、町民の皆様に対して生涯学習を後押しして支える力を発揮できればと思います。委員の皆様には、今後もお力添えをお願いしたいと思ひます。本日はありがとうございました。

上記のとおり平成21年度第3回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成22年3月24日

会長 領木 國雄

署名人 宮沢 洋子